

平和は
微笑みから始まる

笑顔の名言・格言

マザー・テレサ



VIVA白山フェスタ2024



11月8日(金)に「VIVA白山フェスタ2024」が行われました。ご多用の中、たくさんの方にご来校いただき、ありがとうございました。今年度のテーマは、生徒会のスローガンと同じ「咲かせ 君の笑顔 ~きらめけ その個性 みんなの輪~」でした。『一人ひとりの個性が輝き、笑顔の花が咲き誇るVIVAにしよう!!』という生徒会執行部の強い思いで決められたものです。



～実行委員企画～

オープニングセレモニーでは、生徒会役員より『仲間とのつながりを大切にして、この会場のみんで最高に楽しいVIVAを創りあげよう!』と呼び掛けがありました。そして、始めに実行委員企画「VIVA白山オリンピック2024」が始まりました。火を花に見立てた聖花を掲げ、組織委員にふんした実行委員の進行で、漫才や歌、オリンピック種目としてダンスバトル、競技の勝者を予想するクイズ、ピクトグラムクイズが披露されました。舞台の上で軽快に歌ったり踊ったりする出演者に合わせて手拍子が沸き起こり、会場のボルテージは序盤から一気に高まり、聖花も華やかになりました。

～学年タイム～

次に行われたのが「学年タイム」。**1年生**は、劇やダンス、制作を通して、「仲間と一緒に楽しむ気持ち」「お互いを思いやる気持ち」を確認し、合唱曲『大切なもの』を歌いました。**2年生**は、これまでの時間を振り返る劇やVTR動画を通して、「これからも楽しい思い出をみんなと作っていく」ことを確認し、合唱曲『輝くために』を歌いました。**3年生**は、学年目標の「つながり」を歌やダンス、映像を交えて演じながら表現し、合唱曲『道』を歌いました。各学年の個性とこれまで過ごしてきた時間を感じるとともに、一生懸命に歌う姿は、鑑賞している人の心を動かす素敵なものでした。聖花にも、赤・緑・青とそれぞれの学年の色の花が咲きました。

生徒の皆さんは自分の学年はもちろん、他の学年の発表や映像を見ては歓声を上げるなど、とても熱心に鑑賞していました。また、各学年の合唱曲の後には、拍手で温かく称え合っていました。



ねんがくねん ようす
【1年学年タイムの様子】



ねんがくねん ようす
【2年学年タイムの様子】



ねんがくねん ようす
【3年学年タイムの様子】



がくねんがっしょう ようす
【学年合唱の様子】

きょうどうせいさく
～共同制作～

共同制作では、生徒と職員一人ひとりが「自分のマークをつくろう」に取り組みました。それぞれの自分のイニシャルと好きなものを合わせてマークをデザインし、個性を表現しました。その一枚一枚がまとまり、「新しい白山中学校の模様」が出来上がりました。披露されると盛大な拍手が沸き起こりました。



きょうどうせいさく じぶん
【共同制作 自分のマークをつくろう】

ぜんこうおんがく
～全校音楽～



【まねっこリズムの様子】

最後に「全校音楽」。最初に『まねっこリズム』と題し、実行委員のリズムに合わせてみんなで手を叩きながら心をつにしました。次にもっと笑顔の花を咲かせるために「勇氣100%」を歌いました。最後に「白山中学校校歌」を歌いフィナーレを迎えました。全員が『笑顔』で盛り上がる姿に感動しました。聖花も笑顔・個性・団結力がパワーとなり、満開になりました。生徒全員の力で創り上げた「VIVA白山フェスタ」は、『笑顔』があふれるすばらしい行事となりました。ご来賓や保護者の皆様には、全ての場面で、温かい眼差しや心の込もった拍手をいただきました。本当にありがとうございました。

ほ づつまいも づつまいも づつまいも
～PTA園芸活動～

10月22日（火）に、5月から中庭花壇で育ててきたサツマイモの収穫を行いました。今年は猛暑であったこともあり、途中萎れてしまったり、葉が虫に食べられてしまったりと心配する時期もありましたが、最終的には多くのサツマイモが獲れました。PTA役員の皆様、ありがとうございました。

収穫したサツマイモは「VIVA白山フェスタ」で体育館内に展示をした後、お持ち帰りいただきました。



【収穫する様子】



【収穫した芋と持ち帰りの様子】

げいじゅつ かんしょうかい ちゅうごく たいごう が づつまいも づつまいも
芸術鑑賞会 『中国大黄河雑技団』

10月30日（水）本校体育館にて、中国雑技を鑑賞しました。生徒が参加する場面もあり、中国の伝統、歴史に触れることができました。会場は終始『笑顔』があふれていました。

事後アンケートの結果を見ると、『今日の芸術鑑賞会は楽しかったか』という質問に対して、「楽しかった」「どちらかといえば楽しかった」と回答した生徒が99%でした。

また、『中国の芸術や文化、生活について、新たに知ることがあったか』という質問に対して、「あった」「どちらかというもあった」と回答した生徒が95%でした。



【生徒がチャレンジする様子】